

労働時間を「見える化」しよう



～労働時間(残業)を短くする工夫～

①

中途採用し、支店に配置した社員がまた退職してしまいました。

お困りですね。その理由は分かりますか。

やっと採用できたのに

②

原因は分からないけど、本社より支店の方が長時間労働の傾向にあるかな。残業を減らすにも、タイムカードが支店にあって、労働時間の把握が本社ではすぐにはできないんだ・・・。

③

それでは、クラウド型のタイムカードを導入し、支店にいる労働者の出退勤時間を本社で把握できるようにしてみたらどうでしょう。

労働時間がリアルタイムにわかります

そんなことができるのか

④

クラウド型のタイムカードを導入し、日々の労働時間をリアルタイムで把握し、適宜本社から支店に指導を行ったところ、長時間労働が改善された。

長時間労働も改善し、従業員満足度もアップ！

取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」

「36協定上限引下げ★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：製造業 支店数：5支店 従業員数：40名

超過勤務の縮減を行う一環として、全労働者の出退勤状況の把握、残業時間の見える化を図ることが必要と考え、労働時間の可視化に取り組んだ。

<クラウド型タイムカードの導入>

ICカード型のタイムカードを導入し、全支店の労働者の出退勤時間、残業時間をクラウドにより、本部のパソコンで瞬時に把握できるようにした。

労務管理用ソフトウェア等導入に助成あり！

【例：労務管理用ソフトウェア等の導入助成】

○時間外労働等改善助成金
(時間外労働上限設定コース)

助成率最大 80%かつ

上限額最大 200万円

◆助成金には一定の要件があります。

- ・月の途中でも、各人の残業時間を把握することで、月の見込み残業時間を推定することができるようになり、長時間労働となりそうな労働者のフォローを行うことで労働時間が削減された。
- ・本部で労働時間が分かることで、残業手当の計算が効率的に行えるようになった。
- ・残業時間が短縮されたことで、36協定の上限を見直した※。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、

「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatotoyo@aichi-sr.com